

ノーモア・ヒバクシャ通信 第2号

発行 2012年4月12日

発行者 ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会
〒102-0085 東京都千代田区六番町 15 プラザエ
フ 6F

Tel 03-5216-6025 / 03-5216-7757 (直通)

Fax 03-5216-6030 / 03-5216-7757 (直通)

Email hironaga8689@gmail.com

郵便振替口座 00170-5-694752

(口座名義) ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産基金

(1) この間の主な取り組みのご報告

被爆者が遺された資料の現状確認と収集のための協力要請のため、日本被団協の元役員のご遺族を訪問しました。2月に元代表委員の藤平さん宅、3月に元国対責任者の嶋岡さん宅です。試験的に資料を整理しながら、寄託いただく資料の種類や範囲を明確にしつつ、今後の見通しを立てて行く予定です。

広島原爆資料の状況を知り今後の課題を把握するため、2月下旬に関連施設や関係者を訪問しました。主な訪問先は、広島平和記念資料館、国立広島原爆死没者平和祈念館、広島市立図書館、広島県立図書館、広島大学原爆放射線医科学研究所、放射線影響研究所などです。また、原爆被害者相談員の会、文献資料の目録作成に取り組んでこられた宇吹暁氏など関係者にもお会いしました。

今後の課題としては

- 1) 訪問した施設や記者クラブなどに会の「通信」等を送付し、恒常的な情報交換をすすめ協力関係をつくっていく。
- 2) 広島平和記念資料館、国立広島原爆死没者平和祈念館をはじめとする諸施設、諸団体との協力を考えながら、会独自の役割、資料収集方針を明らかにしていく。
- 3) 被爆者運動初期の関係者に、資料の保存と寄託の要請をする。
などを考えています。長崎についても今後、現状の把握を進める予定です。

また3月30日は日本被団協の事務局役員のみなさんとの懇談を行い、被爆者として継承する会に期待することなどをお聞きしました。

(2) 3月理事会を開催

2011年度の理事会を3月24日に行い、この間の取り組みの報告や資料センターの設立と原爆体験の継承について等を討議しました。

今回の理事会では、次の2点が確認されました。

- i) 資料センター構想委員会を設置する。今後の進め方は改めて提案する。
- ii) NPO 法人設立記念行事「核時代を生きる～広島・長崎から何を学ぶか(仮称)」の

開催。

(3) <「原爆と人間アーカイブ」構築の試み>を聴く

3月24日(土)理事会に先立ち、理事懇談会として<「原爆と人間アーカイブ」構築の試みから>と題し濱谷正晴一橋大名誉教授のお話をお聞きしました。おおよそ45年かけて収集してきた「原爆体験」に関する調査資料を、「人類への遺産」としてアーカイブに残す貴重な取り組み(構想の達成めざし構築作業続行中)を伺うことができました。<原爆体験の全体像>を探求する営みとして期待されます。

今後は会員や一般の皆さんにオープンなものとして、こうした学習や懇談を企画していきます。

(4) 「核時代を生きる～広島・長崎から何を学ぶか」実行委員会への参加を

ヒロシマ・ナガサキ、ビキニを経験し、フクシマをもひき起こしてしまった今日、被爆者の生きてきた歩み、日本被団協のたたかひの歩みから、被爆者と同時代を生きる私たちが何を学び、受け継いでいくかを考える、をテーマに、「核時代を生きる～広島・長崎から何を学ぶか(仮称)」(7月15日(日)1時から4時まで、有楽町朝日ホール)を開催します。

この企画の立案や推進は実行委員会形式で行います。実行委員会には被爆者、被爆者の想いを受けとめさまざまな活動に取り組んでいる正会員、賛助会員、賛助団体のみなさんにも参加していただき、企画立案のためのディスカッションの過程でも、「被爆者の想い・願い」「受けとめる側の想いと活動」を交流し学べるように運営していきたいと思えます。

第1回実行委員会を4月21日(土)13:00～16:00に東京都生協連会館3階C会議室(中野区中央5-41-18、最寄駅 JR 中央線中野)で開きます。会員の皆さんが積極的にご参加くださるようお願いいたします。参加くださる方は、事前に事務局まで連絡(メール、電話、FAX)くださるようお願いいたします。

(5) 資料センター準備室の場所提供を

原爆関連資料の収集がいよいよ始まります。整理・保存のためのスペースは、当面、30～50坪程度が必要です。場所を提供していただけるような情報があれば、事務局までご連絡くださるようお願いいたします。

(6) 広報作業ボランティア募集

現在の広報は「通信」しかありません。継承する会のこれからの取り組みをいち早く広くお伝えし、会員相互の意見交流・経験交流のために、早急にインターネット上に、

- i) 会員への情報発信と交流を目的としたメーリングリスト
 - ii) 一般への情報発信を目的としたブログ
- を開設したいと考えています。

しかし、現在の事務局では人数的にも技能的な部分でもメーリングリストやブログの開設・運営まで手が回りません。

ボランティアのみなさんにお手伝いいただきたいのは、

- i) 「通信」の編集、発行
- ii) ブログの開設、記事更新、管理
- iii) メーリングリストの開設、管理

です。ご協力いただける方は事務局までご連絡ください。

資料センターとしてのwebサイトでの情報発信については、この「広報」とは切り離して、今後、議論していく予定です。

(7) 会員の組織状況 (4/4 現在)

正会員	174名
賛助会員	227名
賛助団体	27団体

(8) 財政

2011年度の決算については5月に予定されている理事会を受けて発行する「通信」第3号にて報告させていただきます。

(9) 2012年度会費納入のお願い

会員の皆さまには、日頃たいへんお世話になっております。まもなくNPO法人の認証が得られる見込みで、遅滞なく法人設立登記ができるよう準備を進めております。今年度はNPO法人としてスタートできそうです。

皆さまのご協力の賜物で、心より感謝申し上げます。

さて、新年度を迎えることになりました。原爆体験の継承や資料センターの設立に向けて、活動を本格的に始動させてまいります。2012年度の活動を開始するに当たり、皆さまからの今年度会費の納入を心からお願いする次第です。なお、振込用紙を同封いたしましたので、(イ. 正会員 ロ. 賛助会員 ハ. 寄付金) のいずれかに○をつけて金額をお振込みくださるようお願いいたします。